開催結果報告書

新たな価値をプラスする素材・技術・機械の展示会

フライングカーテクノロジー
Flying Cars Technologies Exhibition & Conference

Electric Vehicle & Plug-in Hybrid Vehicle Exhibition
EVEX
EV・PHV普及活用技術展

Satellite Positioning & Location Service Expo
SATEX
衛星測位・位置情報展

2020 11.4 wed ▸ 11.6 fri

東京ビッグサイト南４ホール

目 次

◆開催概要 …… P2
◆各展開催概要、実車・実機展示ゾーン …… P3,4
◆会場レイアウト、出展者一覧 …… P5,6
◆来場者について …… P7
◆出展者について …… P8
◆オンラインの展開 …… P8
◆来場者の要望・リクエスト …… P9～12
◆新型コロナウイルス対策について …… P10
◆報道・取材の実績 …… P12
◆セミナープログラム …… P13,14

開催概要

◇会　　期　2020年11月4日 (水)～11月6日 (金)
◇会　　場　東京ビッグサイト南4ホール
◇開催規模　出展者数137社（4展合計。オンライン出展・共同出展含む）
◇コンセプト　ポスト2020時代のものづくり & モビリティ

ポスト2020時代の ものづくり&モビリティ

開催概要

新たな価値をプラスする素材・技術・機械の展示会

▮名　　称：エヌプラス ～新たな価値をプラスする素材・技術・機械の展示会～
▮展示構成：不織布・機能紙展 (NowFunEXPO)【初開催】
セルロースナノファイバー展 (CNFEX)
マイクロプラスチック対策展 (MI-CONEX)
プラスチック高機能化展 (N-PLEX)
軽量化・高強度化展 (MALSEC)
コーティング・表面処理展 (COAT-TEC)
接着・接合・ファスニング展 (JOINTEC)
耐熱・放熱・断熱展 (HEAT-TEC)
受託・加工技術展
抗菌素材・製品ゾーン
▮主　　催：高機能化推進協議会
▮共　　催：アテックス(株)
▮協　　賛：(特非) アジア金型産業フォーラム、機能性フィルム研究会、
(一社) 強化プラスチック協会、(公社) 高分子学会、先端材料技術協会、
(一財) 素形材センター、日本化学繊維協会、(一社) 日本金型工業会、
(一社)日本チタン協会、日本粘着テープ工業会、日本バイオプラスチック協会、
日本接着剤工業会、日本不織布協会、日本機械工具工業会、
(一社) 日本表面処理機材工業会、日本溶射工業会、日本塗装機械工業会、
(一社) 日本ロボット工業会、全国鍍金工業組合連合会、
(一社) 日本ファインセラミックス協会、日本製紙連合会、
(一社) 微細加工工業会、(特非) 機能紙研究会　(順不同)

高機能化推進協議会		
代表幹事	川崎　徹	カワサキテクノリサーチ　代表取締役
委員	影山 裕史	金沢工業大学大学院　工学研究科　教授
	岡本　敏	住友化学　技術・研究企画部　担当部長
	室岡 博文	帝人　技監 顧問
	佐藤 千明	東京工業大学　科学技術創成研究院　教授
	北洞 俊明	日本不織布協会　事務局長
	内田 研一	微細加工工業会　事務局長
	森園 賢一	三井化学　モビリティ事業本部 モビリティCoE プロジェクト推進室長
	高木 喜代次	三菱エンジニアリングプラスチックス　執行役員技術センター長

(順不同・敬称略)

▮EVEX・フライングカーテクノロジー連携企画▮
実車・実機ソリューション展示

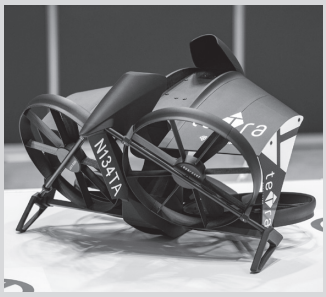
光岡自動車

eVTOL Japan

湘南工科大学大学院

SkyDrive

テトラ・アビエーション



Electric Vehicle & Plug-in Hybrid Vehicle Exhibition

EVEX EV・PHV普及活用技術展

▮名　　称：EVEX（EV・PHV 普及活用技術展）2020
▮主　　催：EVEX 実行委員会
▮共　　催：アテックス(株)
▮後　　援：経済産業省、環境省、国土交通省、
　　(国研) 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）（順不同）
▮特別協賛：(一社) 日本自動車工業会
▮協　　賛：(一社) 全国ハイヤー・タクシー連合会、(一社) 全国レンタカー協会、
　　(一社) 日本自動車タイヤ協会、(一社) 日本自動車部品工業会、
　　(一社) 日本自動車連盟、(一社) 日本電機工業会、
　　(公社) 日本バス協会、(一社) 次世代自動車振興センター　（順不同）

EVEX実行委員会

委員長	堀　洋一	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授 自動車技術会　副会長
実行委員	三森　卓也	ヴィテスコ・テクノロジーズ・ジャパン テクノロジー＆イノベーション　日本担当
	黒岩 隆之	JTB コミュニケーションデザイン 営業企画部 AC 局 AC 課 チーフマネージャー
	荻野 法一	次世代自動車振興センター　次世代自動車部　次長
	向井　徹	スズキ　四輪電気・電子技術エリア　EV 開発部　部長
	吉田　誠	CHAdeMO 協議会　事務局長
	江草　俊	東芝　執行役員常務
	平田 健二	日本充電サービス　事務局長
	鈴木 康史	日本ユニシス　公共第一事業部 ビジネス開発部 グループマネージャー
	遊作　昇	本田技術研究所　先進パワーユニット・エネルギー研究所 高電圧 PU 開発室　室長
	日高 洋祐	MaaS Tech Japan　代表取締役社長

（順不同・敬称略）

Satellite Positioning Technology Exhibition

SATEX 衛星測位・位置情報展

▮名　　称：SATEX（衛星測位・位置情報展）2020
▮主　　催：SATEX 実行委員会
▮共　　催：アテックス(株)
▮後　　援：内閣府 宇宙開発戦略推進事務局
　　経済産業省
　　国土交通省 国土地理院（順不同）
▮特別協力：（一社）測位航法学会

SATEX実行委員会

委員長	坂下 哲也	日本情報経済社会推進協会 (JIPDEC)　常務理事
副委員長	久保 信明	東京海洋大学学術研究院　海事システム工学部門　教授
実行委員	三神　泉	衛星測位利用推進センター　専務理事
	礒　尚樹	NTT データ 社会基盤ソリューション事業本部 ソーシャルイノベーション事業部　スマートビジネス統括部長
	永瀬　淳	ソフトバンク クラウドエンジニアリング本部 IoT サービス統括部　担当部長
	山田　勲	日本電気　官公営業本部 兼 宇宙システム事業部　エキスパート
	橘　克憲	パスコ　執行役員 経営戦略本部長
	菅原　敏	日立製作所　社会イノベーション事業推進本部 企画本部　プロジェクト推進部　担当部長
	岸本 信弘	マゼランシステムズジャパン　代表取締役
	那須 俊宗	マルティスープ　代表取締役
	曽根 久雄	三菱電機　電子システム事業本部 高精度測位事業推進部 測位ソリューショングループ　担当部長

（順不同・敬称略）

フライングカーテクノロジー

Flying Cars Technologies Exhibition & Conference

▮名　　称：フライングカーテクノロジー
▮主　　催：フライングカーテクノロジー実行委員会
▮共　　催：航空機電動化 (ECLAIR) コンソーシアム
　　アテックス (株)

フライングカーテクノロジー実行委員会

委員長	中野　冠	慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授
実行委員	福澤 知浩	SkyDrive　代表取締役
	中井　佑	テトラ・アビエーション　CEO
	山下 敏明	日本電気　ナショナルセキュリティ・ソリューション事業部 生産技術グループ シニアエキスパート
	江草　俊	東芝　執行役員常務
	兵頭　淳	東京アールアンドデー　企業価値創造部　執行役員 部長
	黒川 智弘	東レ・カーボンマジック　マーケティング担当ゼネラルマネージャー
	藤沢 秀幸	ゼンリン　取締役　常務執行役員　事業統括本部長
	秋山 将人	東京海上日動火災保険　航空保険部部長　兼　営業課長 オープンイノベーション推進担当
	桐原 祐一郎	デロイト トーマツ コンサルティング　IP&C 執行役員
	浅井　尚	エアモビリティ　代表取締役 CEO
	伊藤　健	宇宙航空研究開発機構　航空技術部門　次世代航空イノベーションハブ ハブ長

（順不同・敬称略）

会場レイアウト

NH PLUS 新たな価値をプラスする素材・技術・機械の展示会

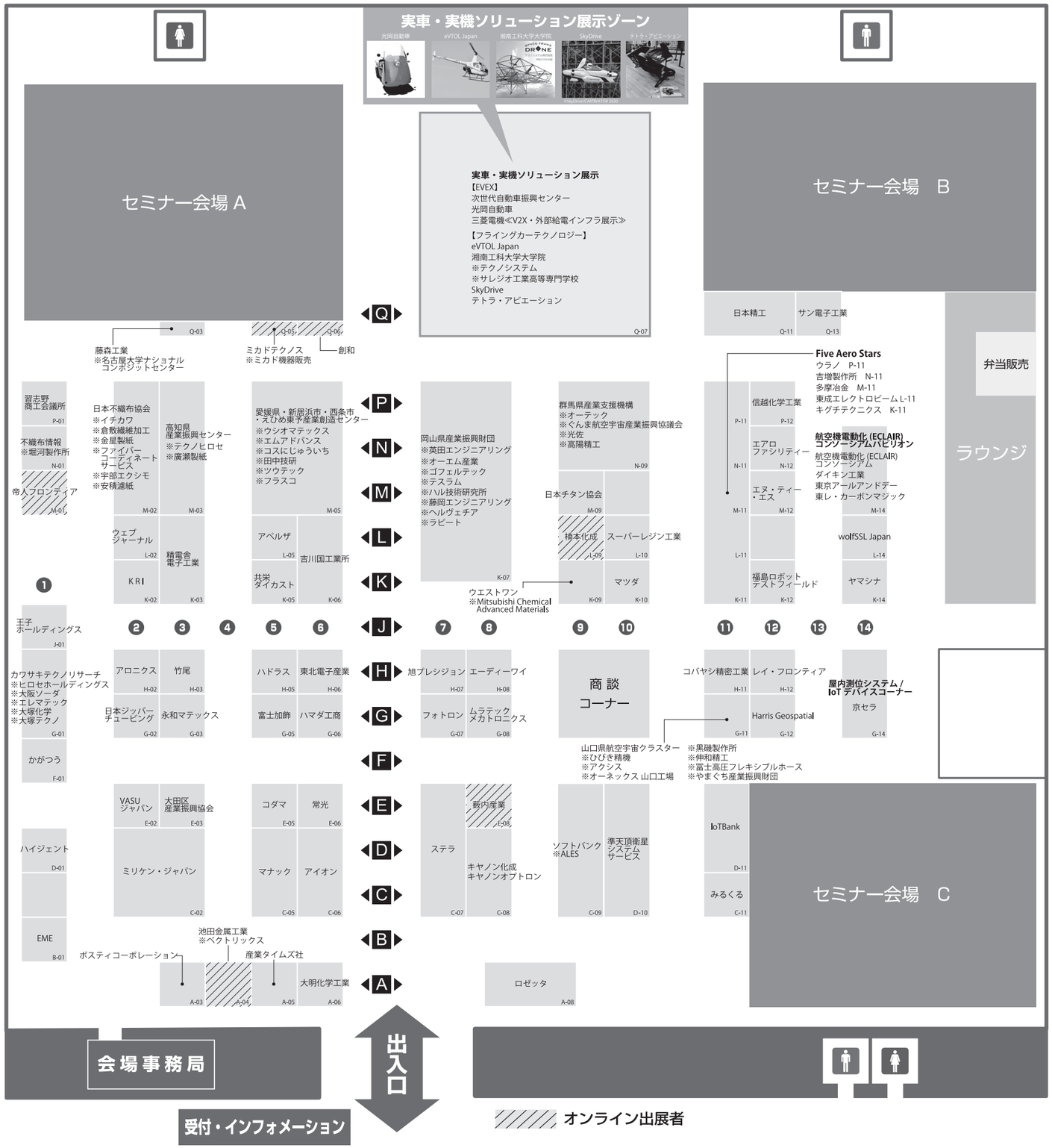
Electric Vehicle & Plug-in Hybrid Vehicle Exhibition EVEX EV・PHV普及活用技術展

Satellite Positioning & Location Service Expo SATEX 衛星測位・位置情報展

フライングカーテクノロジー Flying Cars Technologies Exhibition & Conference

2020.11.4 WED ▶ 6 FRI
10：00 ▶ 17：00 東京ビッグサイト 南4ホール

出展者の見つけ方 A ブロック - 00 番号



出展者一覧

あ	
IoTBank	D-11
アイオン	C-06
英田エンジニアリング	K-07
アクシス	G-11
旭プレシジョン	H-07
VASU ジャパン	E-02
安積濾紙	M-02
アペルザ	L-05
ALES	C-09
アロニクス	H-02
EME	B-01
eVTOL Japan	Q-07
池田金属工業	A-04
イチカワ	M-02
ウエストワン	K-09
ウェブジャーナル	L-02
ウシオマテックス	M-05
宇部エクシモ	M-02
ウラノ《Five Aero Stars》	P-11
wolfSSL Japan	L-14
エアロファシリティー	N-12
永和マテックス	G-03
エーディーワイ	H-08
エヌ・ティー・エス	M-12
愛媛県・新居浜市・西条市・えひめ東予産業創造センター	M-05
エムアドバンス	M-05
エレマテック	G-01
王子ホールディングス	J-01
オーエム産業	K-07
大阪ソーダ	G-01
大田区産業振興協会	E-03
大塚化学	G-01
大塚テクノ	G-01
オーテック	N-09
オーネックス　山口工場	G-11
岡山県産業振興財団	K-07
か	
かがつう	F-01
カワサキテクノリサーチ	G-01
キグチテクニクス《Five Aero Stars》	K-11
キヤノンオプトロン	C-08
キヤノン化成	C-08
共栄ダイカスト	K-05
京セラ	G-14
金星製紙	M-02
楠本化成	L-09
倉敷繊維加工	M-02
黒磯製作所	G-11
群馬県産業支援機構	N-09
ぐんま航空宇宙産業振興協議会	N-09
KRI	K-02
航空機電動化 (ECLAIR) コンソーシアム	M-14
光佐	N-09
高知県産業振興センター	M-03
高陽精工	N-09
コスにじゅういち	M-05
コダマ	E-05
コバヤシ精密工業	H-11
ゴフェルテック	K-07
さ	
サレジオ工業高等専門学校	Q-07
産業タイムズ社	A-05
サン電子工業	Q-13
次世代自動車振興センター	Q-07
準天頂衛星システムサービス	D-10
常光	E-06
湘南工科大学大学院	Q-07
信越化学工業	P-12
伸和精工	G-11
スーパーレジン工業	L-10
SkyDrive	Q-07
ステラ	C-07
精電舎電子工業	K-03
創和	Q-06
ソフトバンク	C-09
た	
ダイキン工業	M-14
大明化学工業	A-06
竹尾	H-03
田中技研	M-05
多摩冶金《Five Aero Stars》	M-11
ツウテック	M-05
帝人フロンティア	M-01
テクノシステム	Q-07
テクノヒロセ	M-03
テスラム	K-07
テトラ・アビエーション	Q-07
東京アールアンドデー	M-14
東成エレクトロビーム《Five Aero Stars》	L-11
東北電子産業	H-06
東レ・カーボンマジック	M-14
な	
名古屋大学ナショナルコンポジットセンター	Q-03
習志野商工会議所	P-01
日本ジッパーチュービング	G-02
日本精工	Q-11
日本チタン協会	M-09
日本不織布協会	M-02
は	
ハイジェント	D-01
ハドラス	H-05
ハマダ工商	G-06
Harris Geospatial	G-12
ハル技術研究所	K-07
ひびき精機	G-11
廣瀬製紙	M-03
ヒロセホールディングス	G-01
ファイバーコーディネートサービス	M-02
フォトロン	G-07
福島ロボットテストフィールド	K-12
藤岡エンジニアリング	K-07
富士加飾	G-05
富士高圧フレキシブルホース	G-11
藤森工業	Q-03
不織布情報	N-01
フラスコ	M-05
ベクトリックス	A-04
ヘルヴェチア	K-07
ポスティコーポレーション	A-03
堀河製作所	N-01
ま	
マツダ	K-10
マナック	C-05
ミカド機器販売	Q-05
ミカドテクノス	Q-05
光岡自動車	Q-07
Mitsubishi Chemical Advanced Materials	K-09
三菱電機	Q-07
ミリケン・ジャパン	C-02
みるくる	C-11
ムラテックメカトロニクス	G-08
や・ら	
藪内産業	E-08
山口県航空宇宙クラスター	G-11
やまぐち産業振興財団	G-11
ヤマシナ	K-14
吉川国工業所	K-06
吉増製作所《Five Aero Stars》	N-11
ラピート	K-07
レイ・フロンティア	H-12
ロゼッタ	A-08

来場者について

来場者数

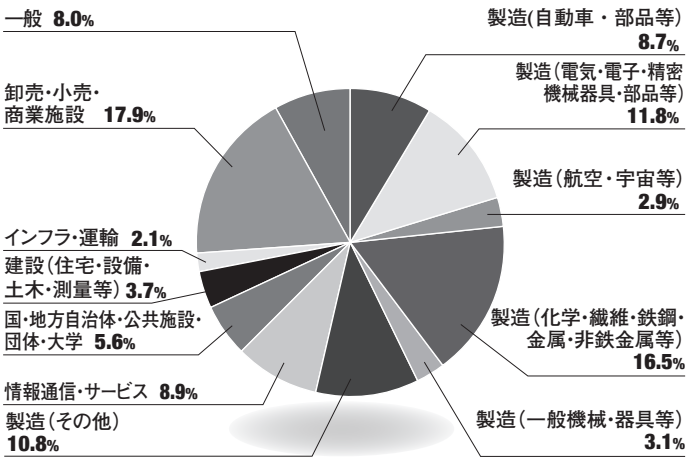
	天気	来場者数※2	のべ来場者数※3
11月4日（水）	晴れ	1,444名	3,395名
11月5日（木）	晴れ	1,861名	3,611名
11月6日（金）	晴れのち曇り	2,334名	4,270名
合　計※1		5,639名	11,276名

※1 4展示会合計
※2 氏名・会社名等の来場登録を行った人数
※3 本展に入場したのべ人数（同日内の再入場を含む）

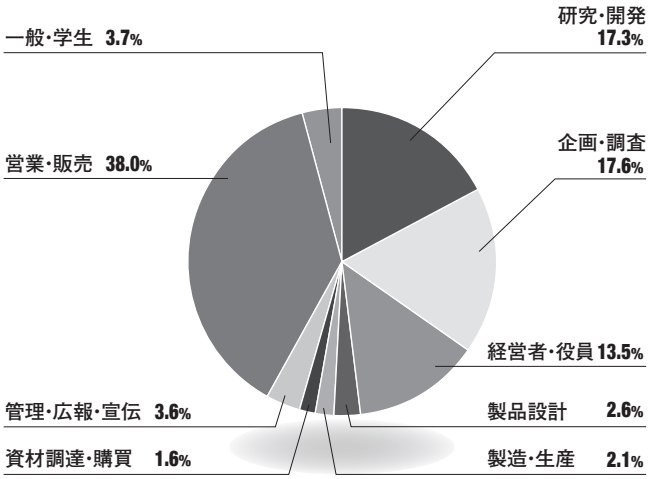
新型コロナウイルス感染症の影響により、開催が危ぶまれていた本展示会であったが、**秋に東京ビッグサイトで開催する最初の展示会**として会期を迎えた。
出展者、来場者とも過去の開催に比較して大きく減少したものの、**半年以上も展示会から遠ざかっていた業界関係者からの歓迎の声は大きく**、貴重な商談の機会となった。
なおコロナ対策の観点からQRコードによる入場者管理システムを導入し、来場者数のカウント方法が従来から変更となった。

来場者分析

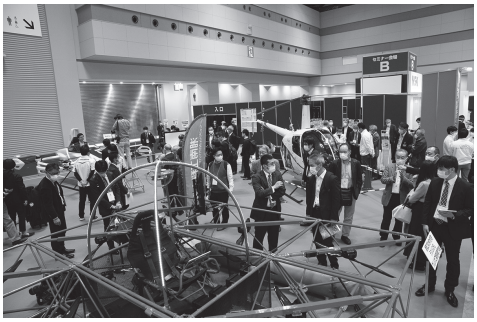
■業種別分類

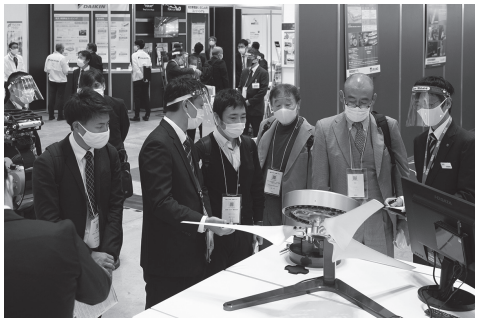


■職種別分類



展示会への来場が大手製造業、特に工場や現場に近い職種において外出の制限が厳しいと言われていたが、それが来場者の実績にもあらわれた。とりわけ前回の来場者数で上位を占めた**20社（完成車メーカー、大手電機メーカーなど）に限ると、約1/3にまで人数が減少**している。
他方、**こうした状況下で展示会場に足を運ぶのは、目的や課題を具体的に抱えている人たちばかり**であり、それが出展者の声としての成果にも結実しているようだ（右ページ参照）。





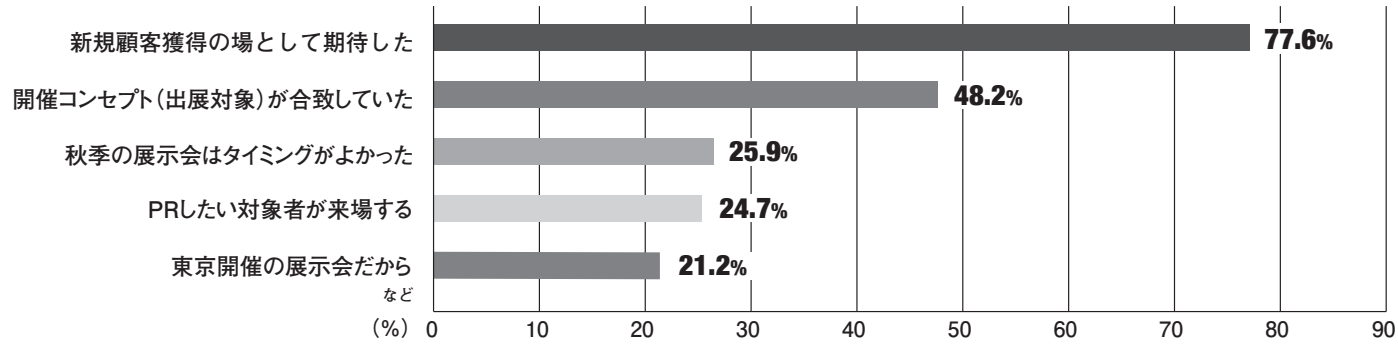
出展者について

出展者数：137社（4展合計。オンライン出展・共同出展含む）

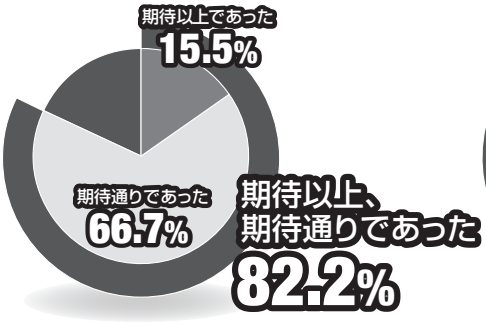
出展者においてもコロナ禍のため、「目標設定が難しい」「来場誘致にどこまで注力したら良いかわからない」という課題を抱える中での会期となった。

出展者アンケート集計結果

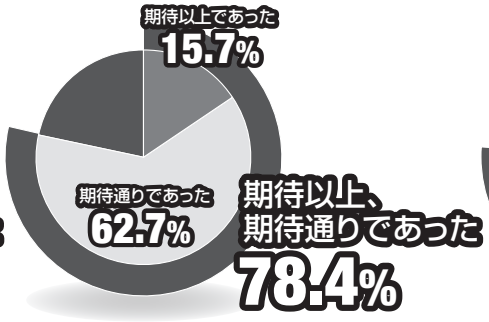
●出展の理由（複数回答）



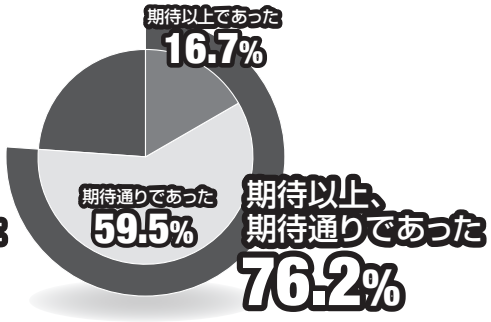
●製品・技術に対する意見収集・情報交換の場として



●販促・商談の場として



●新規顧客獲得の場として



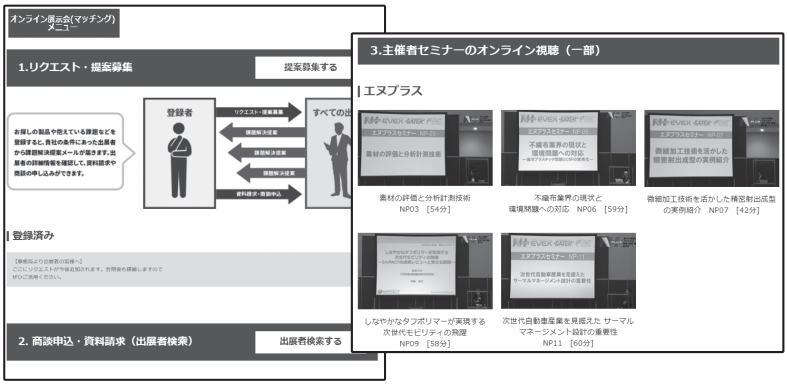
出展者の声

- コロナの影響がある中、来場者は多く感じた。
- 感染対策の徹底がすばらしかった。
- ブースへの来場者数は少ないものの、それぞれの内容が濃かった。
- QRコードによる入場管理が良かった。
- もっと同業他社に出展してほしかった。

オンラインの展開

会場へ足を運べないという出展者・来場者の声に応え、「オンライン出展」「オンライン展示会」を初めて実施。展示会場にもオンライン出展ブースを設置し、来場者の取得を可能にした。会期後には主催者セミナーの映像も公開し、好評を博した。

2020年10月8日～2020年12月末まで



主な来場者と要望・リクエスト

エヌプラスへの関心

● 機能紙・不織布、セルロースナノファイバー、繊維

朝日印刷　販売開発推進部 開発営業課	**紙素材**関連
AGC エンジニアリング　メンブレン事業部	不織布・高機能紙・高機能プラスチック・その他**人工繊維**
SGS ジャパン　認証・ビジネスソリューションサービス	マイクロプラスチック、**不織布、機能紙**など
岡谷鋼機　東京化成品部	軽量化・新素材・抗菌・CNF
小林製薬　研究開発部 洗浄・家庭用品	**不織布・機能紙・コーティング・表面処理**について
サカタインクス　第一研究部	機能紙や**新しいパッケージへの利用**が出来そうな商材
島田商事　商品企画ユニット	**アパレルに使える**製品、技術、サービス
大日精化工業　オフセットインキ事業部	**特殊用紙への印刷**関連
B.B ファーム　農場長	**不織布の農業利用**
福島印刷工業　マーケティング部開発室	不織布及び特殊紙
八洲電装　役員	**機能性包装紙**

● 抗菌、抗ウイルス

イノアックコーポレーション　グローバル技術本部	エコ素材、バイオマスプラ・生分解性などの材料、抗菌
キヤノンファインテックニスカ　PHD 事業企画推進	特殊メディア、**抗菌メディア**
信越ポリマー　開発本部 開発統括室 マーケティンググループ	**医療に使えそう**な素材・技術
スーパーバッグ　調達部 化成品調達グループ	バイオプラ・**生分解プラ・抗菌・抗ウィルス**等々の情報
第一塗料製造所　営業部	高機能コーティング剤や抗菌・抗ウィルス剤
大日本印刷　研究開発センター	抗ウイルス製品、技術を中心に探す予定
東邦化研工業　営業部	バイオマスプラスチック、**抗ウイルスコーティング**
東洋紡　不織布事業開発部	抗ウィルスについて
日東樹脂工業　国際営業部	**抗菌・抗ウイルス技術**

● 機能性材料、新素材・材料

あいち産業科学技術総合センター　三河繊維技術センター	CFRP
イチネンケミカルズ　第三営業部	バイオマスプラスチック材料について説明
ENEOS　機能材事業化推進部	機能材、高分子材料
協和合金　企画部	軽量化、高強度の素材・技術
太陽油脂　SCM 企画 G 資材調達 T	生分解プラ等環境配慮素材での各種軟包材の現状
中外テクノス　工業エンジニアリング事業本部	CFRP、CNF の技術動向
東ソー・ニッケミ　化成品部	化学品**添加剤**等
トーヨーケム　新システム営業推進部	次世代の新素材技術全般
東リ　技術課	機能性材料、不燃材料など
凸版印刷　情報コミュニケーション事業本部 技術戦略開発部	マイクロプラスチック対策、プラスチック高機能化、表面処理
トヨタ紡織	環境技術、材料、**スマートシティ**
ナガセケムテックス　機能樹脂事業部 事業企画室	放熱材料
ニシヤマ　鉄道車両システム事業部 車両・機器グループ	**鉄道業界**へ横展開できる新商材の発掘
日産自動車　総合研究所	機能性高分子など
日鉄ケミカル&マテリアル　複合材料事業企画部	CFRP 関連製品・技術
富士フイルム　経営企画本部 ビジネス開発・創出部	プラスチックや不織布**基材への高機能化**技術
古河テクノマテリアル　インフラ市場開発部	**耐熱、放熱素材**
マクセル　開発本部	新素材（**放熱、吸熱、蓄熱、生分解、発泡**）
ミヤコ化学　東京化成品部	セルロースナノファイバーとプラスチック、**接着材、コーティング剤**の最新技術
ユニチカ　中央研究所	**次世代自動車開発のため**の先端素材

● 加工技術

秋田県大仙市役所　経済産業部	**地方の資源**と先端技術のマッチング・開拓
アゼアス　事業開発部	不織布及び樹脂の加工、**接着技術及び製品**
大塚化学　化学品事業本部	**異種材接着　樹脂と金属の接着**
キヤノン　半導体装置技術第一課	**コーティング・表面処理の**最新技術、およびそれに関する装置や**受託加工業者**の調査
共和熱処理　社長室	**熱処理加工技術**が活用できる製品（強度向上、靭性向上、防錆・防蝕等）、表面加工技術
極東産機　インダストリー 産業機器事業部	不織布・機能紙・炭素繊維、接着剤、塗料など材料メーカーの設備状況
西武建設　東京支店	不織布、**タッピング等素材接合・接着**
積水化学工業　開発研究所 機能材料開発センター	サンプル表面の温度および熱均一性を評価可能な温度測定機器
ダイトロン　東京機械営業所	放熱
タックコート　営業部	コーティング、**研磨切削他加工**の技術。
タニタハウジングウエア　開発部商品開発課	**接着剤**の性能及び利用方法等

帝人　マテリアル技術本部 ソリューション開発センター	**センシング技術**、ライフプロテクション、情報通信技術、高性能・高機能材料
豊田通商　グローバル部品第四部	**拡散接合**、新技術
中村科学器械工業　新規事業推進部	ものづくりにおける、最新の技術やアイデアなど。特殊加工技術。
日泉化学　自動車事業本部 営業技術センター 技術営業グループ	自動車向けの樹脂、**金型**関連メーカー
日本製鉄　チタン事業部チタン技術部	**チタン**関連の製品
日本トーター　端末技術部 端末2課	300程度の小ロット品を低価格で請け負って頂けるサービス
日本航空電子工業　UIS 事業部	コーティング・表面処理、接着・接合・ファスニング、抗菌素材・製品
ハーベス　研究開発部	放熱シート、**放熱グリース、放熱接着剤**
八幸通商	5G など、**通信機器の次世代の素材**などの情報
藤商事　購買部開発購買課	アルミ加工、**表面加飾**技術
ミネベアミツミ　技術開発部	切削工具、鍛造工具のコーティング技術ほか
村井電気　東京営業所	最新の表面処理技術のトレンド
村田機械　研究開発本部	軽量化技術・接着技術・高機能プラスチック・複合材技術・位置情報計測技術

● 部品・パーツ、機器・装置

オカモト　機能プラスチック製品部 工業テープ課	**耐熱、難燃、低誘電**、その他高機能性プラスチック製品
押野電気製作所　営業部 開発営業・調達課	車載用基板、電子部品、樹脂成形メーカー
倉敷繊維加工　マーケティングサポートグループ	不織布関連、**機械設備関連**
山洋工業　事業推進部企画課	不織布の活用事例、**電気部品の新商材**探し
ジェイテック　海外営業部	不織布の材料メーカ情報と関連**加工機器**
東亜電気工業　営業開発本部	**光学部材**とそれを利用した最終製品、**ナノ / マイクロ加工技術**
日本紙パルプ商事　情報用紙部情報用紙課	各基材・部材の**軽量化**方法
藤倉化成　研究開発部	軽量化、シールド関連部材、**精密加工業者**
フルノシステムズ　営業本部営業技術部	**センサー技術**
三菱ケミカル　コーティング材事業部	**光学系部品**、樹脂系部品

● 電動化、電磁波対策

NBC メッシュテック　営業本部	軽量化技術の動向、EV・PHV などの動向、不織布などの新しい情報収集
三光合成 炭素繊維事業部	**EMI シールド**
西武鉄道　車両部車両課	コロナ対策素材、**蓄電池**
東海エレクトロニクス　マーケティング本部マテリアル推進部	CFRP・CFRTP 関連、新加工技術、**ノイズ・放熱対策**、樹脂成形技術
東洋紡　モビリティマーケティング戦略部	セルロースナノファイバー、**電磁波シールド**
日本軽金属　メタル・素形材事業部	**アルミニウム導電材**
丸紅情報システムズ　製造ソリューション事業本部	素材、**検査装置**、EV、PHV
ユウホウ　企画開発部	軽量化、**電磁波シールド**
ローム　システムソリューションエンジニアリング本部	**EV 用パワー半導体**

新型コロナウイルス対策について

会期前から感染疑い者の出展・来場自粛を呼びかけたほか、会期中にはマスク着用や検温・アルコール消毒の徹底、飛沫防止アクリル板の設置などのコロナウイルス対策を実施。感染疑い者、陽性者の発生もなく会期を終えた。
なお会期後の陽性者についても、発生の報告はなかった。

主な来場者と要望・リクエスト

フライングカーテクノロジー 空飛ぶクルマへの関心

アクセンチュア　テクノロジーコンサルティング本部	空飛ぶクルマに対する**サイバーセキュリティ技術**
アストロデザイン　事業戦略部	ドローン及び**自動制御コミューターの利用**について
アルプスアルパイン	フライングカーでの技術課題 (実用化課題)、**バッテリーライフの対応**
ANA ウイングス　運航部	空飛ぶ車の航空法面における**法整備の現状と展望**
応用地質　情報企画本部ITソリューション企画部	ドローン・フライングカー関連技術
京セラ　先進技術研究所	エアモビリティに関連する、デバイス、テクノロジー、サービス
静岡県新成長産業戦略的育成事業	空飛ぶクルマの最新情報の把握（最新技術動向、海外の開発状況／**航空法規の改正**について／**航路**をどうするのか／**パイロットの育成方法、技量把握**方法）
シンフォニアテクノロジー　東京航空宇宙システム営業部	**電動航空機推進用モータ・インバータ**
新明和工業　流体事業部事業企画部	現在のフライングカーに関する技術、開発段階
スタンレー電気	フライングカーテクノロジー、**車載パッケージの小型化について**
SUBARU　航空宇宙カンパニー企画管理部	**バッテリー**
積水化学工業　環境・ライフラインカンパニー 新規事業推進部	**内装・インテリア**
相互発條　営業部	**eVTOL など航空機電動化の技術、必要な部品**に関すること
dSPACE Japan　ソリューション技術部	UAV、e-VTOL の開発環境
東海旅客鉄道　建設工事部 電気工事課	フライングカーを実現するための最新技術
東京海上日動火災保険　航空保険部	空飛ぶクルマ関連の技術・サービス
東芝　電池システム開発部	**航空モビリティ**の電動化動向
東レ	フライングカーに関する**安全装備の技術トレンド**
トヨタテクニカルディベロップメント　計測制御事業本部	空飛ぶクルマの技術、**自動操縦**の技術
トヨタ紡織　シート事業本部 ACT 事業センター	eVTOL の**内装製品技術**
日本無線　特機事業部 企画推進部	空飛ぶクルマに関する**搭載機器、インフラ設備、市場展開**など
松屋 R&D	フライングカー、次世代ドローン、**安全装置**
三菱電機　統合センサシステム部	空飛ぶ車の**地上管制インフラ**に関する最新情報など
村田製作所　コンデンサ事業部 市場マーケティング2部	フライングカーやドローン
矢崎総業　技術研究所 パワーエレクトロニクス応用研究部	電動航空機関係の技術やシステム
横浜ゴム　航空部品事業部 電波・音響伝搬研究室	**フライングカーに関する技術と MaaS** の動向

EVEX 電動化への関心

アイ電子工業　役員	EV の**構造や部品**などの情報・技術
旭化成　レオナ樹脂技術部	電装部品の樹脂化
アユダンテ　EVsmart チーム	EV 関連・**急速充電器・蓄電池**・ソーラーパネル
オムロン　グローバル購買・品質本部 開発購買推進室	EV 向け**パワー半導体**技術、**位置測距技術**
サン電子工業　管理本部	自動車、通信機器関連
シチズン時計　研究開発センター 開発部	EV·PHV向けの切削部品（自動旋盤、マシニングセンタ等を使用）、PHV向け発動機（ガソリン／ディーゼル）
神鋼リサーチ	電動車関連の**軸受、ブレーキ関連の製品**、技術。空飛ぶ自動車の部品
新明和工業　産機システム事業部	EV**2次電池**関連技術
ダイセル　事業創出本部 新事業開発部	**航空機の電動化技術**、空飛ぶくるま、バイオマスプラスチック
太陽インキ製造　PCB マテリアル部営業課	電気自動車の技術動向について
タムラ製作所　市場開発本部	**EV・PHV のインバーター技術**
椿本チエイン　車載ビジネス開発部 車載新商品開発課	**CASE、MaaS** に関連する製品の動向
デンカ　ソリューション開発部	**EV のバッテリー周辺向け資材**について、どういった製品・材料があるのか
東洋紡　生活・環境マーケティング戦略部	**次世代電池、5G 関連素材**
豊田合成　WS 技術部	新素材、自動車の将来動向
日機装　航空宇宙事業本部	**素材・CFRP・受託 / 加工技術**関連の技術
日産自動車　グローバル EV 本部 EV オペレーション部	EV 用**急速充電器**
日本エヤークラフトサプライ　営業部 営業推進課	EV 用充電器、**コイル・素材（電線）**関係
日本電気　プラットフォームソリューション事業部	**EV とその関連機器のヒューマンインターフェイス**に関する技術
日本特殊陶業　イノベーション推進本部 戦略マーケティング部	EV ほかのサステナビリティ
日本パーカライジング　経営企画本部 事業企画グループ	未来型移動体のボディや各部品への表面処理技術
パーソルプロセスアンドテクノロジー エネルギービジネス統括部	EV 車、満充電での持続走行距離 UP　&　非常時の分散電源化　など
パナソニック　オートモーティブ社 充電器 BU 開発管理部	車載**充電器向け構成部品**
ヴァレオジャパン　PTS ビジネスグループ	**商用車向け EV、PHV 向けの技術**特に充電に関わるインフラ
堀場製作所　TSO 首都圏営業チーム	**LiB、PEFC の評価技術**、リユースバッテリーの活用法、評価技術
ミクニ　4輪事業推進部 調査・企画グループ	MaaS を支えるコネクティッド技術、サービスの連携、統合
三井ハイテック　営業部	EV・PHV における**半導体部品の展開**

三菱自動車工業　モビリティビジネス戦略部	**V2H**
UACJ 製箔　電池箔販売部	**LiB 電池情報及び次世代二次電池情報**
横河電機　MI センター	EV/PHEV のインフラ普及状況。チャージステーションの標準規格設定状況ほか
リコージャパン　社会インフラ事業部 事業展開推進部	EV の技術・充電インフラの保守メンテナンス

SATEX 位置情報・ロケーションシステムへの関心

アイシン・ソフトウェア　基盤技術開発部	**屋内測位技術**
宇宙航空研究開発機構　衛星測位技術ユニット	準天頂衛星、**CLAS 等の利用技術（QZS 対応受信機、スマホ等）**
NEC スペースシステム　営業本部	測位技術及び新規材料
NTTコムウェア	最新の **GNSS 受信機**
エントラスト　開発技術部	次世代位置情報技術　**個体電池**　**LiDAR** の最新技術
海上保安庁　海洋情報部	GNSS
鹿島建設　東京建築支店 建築工事管理部	**位置測位技術・IoT デバイス**
川崎重工業　航空宇宙システムカンパニー	GPS への**妨害やスプーフィングに対応する技術**について興味
サントリーシステムテクノロジー　先端技術部	GPS の利用、情報プラットフォームの構築
JRC モビリティ　経営戦略部 技術企画グループ	**最新の GNSS 製品の動向**
ゼンリンデータコム ビジネス創出担当	GNSS 関連の最新情報、**測位精度、応用事例**など
綜合警備保障　開発技術部	**屋内外の位置測位**
大日本印刷　モビリティ事業部	**スマートフォンのセンサー情報の取得**と活用技術
東芝エレクトロニックシステムズ システム&コンポーネント技術部	**IoT 及び位置情報関連**
トヨタ自動車　第2パワートレーン先行開発部	位置情報を得るための手法、**精度の現状と将来性**等
内閣府宇宙開発戦略推進事務局	衛星測位利活用事例
日精　商品営業本部 IT ビジネスグループ	**MADOCA 端末、CLAS 端末**
日本土地家屋調査士会連合会	**QZSS 対応受信機**
パスコ　中央事業部	衛星測位
東日本高速道路　総合技術センター	衛星測位**受信機**
日立造船　事業企画・技術開発本部 戦略企画部	**衛星測位・位置情報の提供サービス**、技術情報など
プロドローン　東京研究部	あたらしい **GNSS 受信機、アンテナ、機体フレーム素材、フライングカー部品メーカー**
本田技術研究所　ライフクリエーションセンター 戦略企画 BL	位置取得**技術動向とコスト**
マクセル　マーケティング部	衛星測位・位置情報に関する展示
三菱スペース・ソフトウエア　つくば事業部 事業推進室	**みちびき利用サービス**
リコー　イノベーション本部事業創造センター	**位置情報ビジネスの例**
臨海測量　役員	衛星測位の**みちびき対応の機器情報**

報道・取材の実績

フライングカーテクノロジー・EVEX の実車・実機展示を中心に話題を集め、会期中にはテレビ局・新聞を中心としたメディアの取材陣も多数来場した。

・プレス来場者：72社85人

・主要な来場メディア：フジテレビ／テレビ東京／千葉テレビ／テレビ愛知／朝日新聞／共同通信／産経新聞
日本経済新聞／読売新聞／WING DAILY／化学工業日報／紙業タイムス／繊維ニュース
電子デバイス産業新聞／日刊工業新聞／日刊自動車新聞／燃料油脂新聞／マイナビニュース
みんなの試作広場／工業材料／ドローントリビューン／ドローン.biz／ファスニングジャーナル 等
（順不同）

テレビ東京

テレビ愛知

セミナー プログラム

聴講無料

11月4日(水)

エヌプラス

NP-01 11:00〜12:00 会場:C

素形材産業の現状と課題

素形材産業の用途の拡大、型管理の適正化、支払条件の改善等、産業競争力を強化するための方策、政府の支援等について紹介する。

経済産業省
製造産業局 素形材産業室長
谷 浩氏

NP-02 12:30〜13:30 会場:A

複合材料とモビリティー期待と課題ー

将来、スマートシティが活性化する中、陸、空、水上で環境対応とCASEを有する様々なモビリティが出現する。複合材料は軽量の特徴を活かし、CFRPのLCA改善、CNF強化バイオプラスチックの普及がモビリティの要求に合わせて実施されるであろう。

金沢工業大学大学院 工学研究科高信頼ものづくり専攻 教授
影山 裕史氏

NP-03 14:00〜15:00 会場:C

素材の評価と分析計測技術

評価は新しい素材を社会実装するうえで必要不可欠である。それを実現するー手段が分析計測技術である。ここではいくつかの評価事例を交えながら、分析計測技術を紹介する。

(株)島津製作所 分析計測事業部 グローバルマーケティング部
マネージャ
草野 英昭氏

NP-04 15:30〜16:30 会場:A

臭気検知センサーを用いた体調モニタリング技術について

当社は現在、イスラエルのナノセント社との連携により、次世代ヘルスケアプラットフォームの鍵となる「体調可視化」の実現を目指し、臭気検知センサーと、検知したデータを活用するIoTプラットフォームを開発しています。講演では現在注力している新型コロナウイルス感染症の迅速診断センサーへの応用含め紹介予定です。

住友化学(株) 技術・研究企画部 担当部長
岡本 敏氏

フライングカーテクノロジー

FC-01 10:30〜12:00 基調 会場:B

空飛ぶクルマ時代の幕開け

各国で開発が進む空飛ぶクルマ。日本における研究を牽引している大学教授と、日本で開発をリードしている機体メーカー2社によるディスカッション。
各社の開発状況を踏まえ、来るべき新時代への期待や可能性について討議する。

コーディネーター
慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授
フライングカーテクノロジー実行委員会 委員長
中野 冠氏

パネリスト
(株)SkyDrive 代表取締役
福澤 知浩氏

パネリスト
テトラ・アビエーション(株) CEO
中井 佑氏

FC-02 14:00〜15:00 会場:B

航空機電動化(ECLAIR)コンソーシアムにおけるeVTOL研究開発の取り組み

航空機電動化(ECLAIR)コンソーシアムでは、2018年12月に「航空機電動化将来ビジョン」を作成し、その中でeVTOLの社会実装目標や技術課題等について述べた。その後2019年に技術開発グループを設立し、eVTOLに関する研究にも着手したので活動状況について紹介する。

(国研)宇宙航空研究開発機構 航空技術部門 次世代航空イノベーションハブ ハブマネージャ **西沢 啓氏**

ECLAIRコンソーシアム eVTOL機体システムの検討

ECLAIRコンソーシアム 小型電動航空機ビジネスモデル、地上インフラの検討サブグループ機体技術調査チームでは、構成する各組織、企業の知見を持ち寄り、想定するビジネスモデルに最適なeVTOL機体の機能・性能仕様を定めることを活動目的としています。本講演ではその検討状況を紹介し、eVTOLが将来広く社会に受け入れられるための技術課題等を提示したいと思います。

川崎重工業(株) 航空宇宙システムカンパニー 事業開発部 部長 **山本 毅宏氏**

ECLAIRコンソーシアム eVTOLビジネスモデルの検討

小型機(空飛ぶクルマ)の具体的ユースケース(例:ニセコや瀬戸内など観光地への二次交通、地方-都市間交通)の市場規模推定、機体やインフラへの要求仕様の具体化など、ヒアリング調査も必要に応じて実施しながら進めている検討事例を紹介する。

慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 空飛ぶクルマラボ 特任助教 **中本 亜紀氏**

ECLAIRコンソーシアム eVTOLインフラシステムの検討

eVTOLの運用には従来の航空管制との協調、省力化の為の遠隔操縦や自律運行技術、地球温暖化ガス削減の為の電力活用方法、自動車部品などの流用の為の装備品認証など、新しい技術が必要となります。自動車開発技術を応用したeVTOLに対応したインフラの検討経過をご報告させて頂きます。

(株)東京アールアンドデー 企業価値創造部 部長 **兵頭 淳氏**

EVEX

EV-01 10:30〜12:00 基調講演 会場:A

EVの本格普及に必要な業界を超えた共創

過去にEV普及の機運が高まったことは何度もあったが、成就していない。他のイノベーション技術を振り返ると、単独の企業努力で成し遂げられているものが多い。一方EVの普及には、自動車会社に加え、電池会社、充電器メーカー、公共充電サービスなど、複数の大きなステークホルダーの協力が必要。未来を共に創るとの意思の下、協調の取られたチャレンジが鍵となる。

(一社)CHAdeMO協議会
会長
姉川 尚史氏

日産自動車(株)
環境・安全技術渉外部兼渉外部 主管兼部長 /
(一社)CHAdeMO協議会 事務局長
吉田 誠氏

EV-02 12:30〜13:30 会場:B

都市交通とMaaS ～ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ～

交通分野で高い注目を集めているMaaSについて、都市交通の諸課題の解決にどう寄与し得るものなのか、課題の全体像を考察する。横須賀スマートモビリティチャレンジ協議会での活動を概観し、MaaSのあるべき方向性を議論する。

リモート 横浜国立大学 副学長・教授 **中村 文彦氏**

EV-03 15:30〜16:30 会場:C

ヴィテスコ・テクノロジーズのコネクティビティとデジタライゼーションへのアプローチ

ヴィテスコ・テクノロジーズのビジネスのご紹介、弊社製品の今後の電子化を鑑みながら、コネクティビティに対する当社の考え方、アプローチ及びデジタライゼーションによるテクチ指向に基づくサービス方針についてご紹介する。

ヴィテスコ・テクノロジーズ・ジャパン(株)
エレクトロニクス・コンポーネント事業部 PL-NA 日本担当
林 正人氏

From invention to application: How Continental Engineering Services and Vitesco Technologies can mobilise innovation

Continental Engineering Services have a long history of working with customers to generate unique electrification solutions. The close collaboration with Vitesco Technologies can now move innovation into high volume production, enabling vehicles to be more fun to drive with higher levels of efficiency, in a cost-effective environment. This presentation will highlight some key topic areas and future roadmap opportunities that can be applied in novel and unique ways to automotive products and applications. Both electric machine and power electronics opportunities will be explored, and their integration across a range of vehicle architectures.

リモート Continental Engineering Services
Driveline & Electrification and Motorsport Head of Business Development
Neil Cheeseman

SATEX

SA-01 12:30〜13:30 基調講演 会場:C

デジタル田園都市構想の具体化に向けて

コロナ禍の国家戦略に大きな影響を与えた自民党の「デジタル田園都市国家構想」は、非対面・非接触・分散環境での働き方/教育/医療、そして「データ連携基盤」等が提言されており、今回はこれらを紹介する。

ホスト
(一財)日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)常務理事
SATEX実行委員会 委員長
坂下 哲也氏

ゲスト
(一社)官民データ活用共通プラットフォーム協議会 代表理事
奥井 規晶氏

SA-02 14:00〜15:00 会場:A

日本版MaaSの実現による地域活性化とそれを支えるデータ連携

新たなモビリティサービスであるMaaS(Mobility as a Service)の最新の動向について、国土交通省がまとめた「MaaS関連データガイドライン」に基づくデータ連携の方向性も含めて紹介する。

国土交通省 総合政策局(公共交通・物流政策審議官部門)
モビリティサービス推進課 企画官(MaaS) **土田 宏道氏**

SA-03 15:30〜16:30 会場:B

「みちびき」のCLASが実現する小型ボートの自動着岸

小型プレジャーボートにとって極めて難しいとされていた桟橋などへの着岸を「みちびき」のCLASを利用して簡単かつ安全で正確に行えるようにした。研究のポイントと今後の課題。

リモート ニュージャパンマリン九州(株)取締役社長 **山本 茂氏**

11月5日(木)

エヌプラス

NP-05 10:30〜12:00 会場:A

感染症対策と材料技術の接点
～with コロナ、postコロナ社会の材料と異業種参入～

第二波が押し寄せた新型コロナ対応の「いま」と「これから」を概括し、異業種からの参入例とメリットを考える。
さらにwith コロナ、postコロナ時代に求められる医療材料について、異業種からの参入も含めて、医療機器筐体、治療薬や検査キット製造のための材料について述べる。一方、輸送手段や劇場などに求められる材料について、今後の動向を考える。本社既刊の資料集「新型コロナウイルスや今後の感染症にポリマー等各種材料メーカーが対応できること」およびその第二弾(近刊)もご参照いただきたい。

(有)カワサキテクノリサーチ
コンサルティングスタッフ
北口 暢哉氏

感染症に強い環境の構築と備え
～with コロナ社会の抗菌・抗ウイルス材料～

新型コロナウイルスの感染リスクを低減し、安心安全を提供するための抗ウイルス技術に着目する。ここではwith コロナ社会の抗菌・抗ウイルス材料の現状と今後について考察する。

(有)カワサキテクノリサーチ
コンサルティングスタッフ
丸山 幸治氏

NP-06 12:30〜13:30 会場:A

不織布業界の現状と環境問題への対応
ー海洋プラスチック問題とCNFの実用化ー

SDGsが世界共通の課題となっている現在、企業にとって環境問題は避けて通れない要因となっている。また、機能性を活かして不織布はこれからも益々用途が拡がると予測されている。ここでは、不織布産業の現状と不織布製造技術の特徴と動向、および環境問題に対する不織布産業の対応の例について解説する。

日本不織布協会 顧問
信州大学繊維学部 特任教授
矢井田 修氏

NP-07 14:00〜15:00 会場:C

微細加工技術を活かした精密射出成型の実例紹介

プラスチックの高機能化で日々進化しているスーパーエンジニアリングプラスチックや生体分解高分子などの精密微細部品を射出成型する技術の高度化も時代の要請である。ここでは微細加工技術を生かした精密射出成型の実例を紹介したい。

(株)狭山金型製作所 代表取締役 **大場 治氏**

NP-08 15:30〜16:30 会場:A

CNF大型成形技術

CNFを高圧の射出成形ではできない大型の構造部材を狙い、CFRP等の成形方法で採用されているRTM低圧一体成形の量産の可能性を評価し、エンジンフードのアウター・インナー一体型を同時成形できることを証明した。

金沢工業大学 革新複合材料研究開発センター 研究員 **附木 貴行氏**

フライングカーテクノロジー

FC-03 12:30〜13:30 会場:B

「空飛ぶクルマ」に関する海外市場動向と日本市場へのインプリケーション

世界各国で開発が進む空飛ぶクルマ。機体の開発に加え、それを利用した新しいビジネスモデルの構築なども進んでいる。海外の最新事例について紹介する。

デロイトトーマツ コンサルティング(同) 航空宇宙・防衛セクター シニアマネジャー **谷本 浩隆氏**

FC-04 14:00〜15:00 会場:B

空飛ぶクルマ最前線 ～国内事例の紹介～

三重県では、新たなテクノロジーである空飛ぶクルマを活用して、誰もが住みたい交通、観光、防災、生活等の地域課題解決につながるビジネスの創出に向けた取組場所で住み続けることができる社会をめざしています。をご紹介します。

三重県 雇用経済部 創業支援・ICT推進課 課長 **上松 真也氏**

愛知県における空飛ぶクルマ及びその関連産業に対する開発支援の状況

リモート 愛知県 経済産業局 情報通信(ICT)政策推進監 **吉田 弘毅氏**

福島県では、福島ロボットテストフィールドを研究開発拠点として整備を進めています。 現状と今後の計画等についてご紹介いたします。

(公財)福島イノベーション・コースト構想推進機構 福島ロボットテストフィールド 副所長 **細田 慶信氏**

EVEX

EV-04 12:30〜13:30 会場:C

日光地域における環境負荷低減の取組みについて

日光地域における、EVを活用した環境負荷低減の取組について(栃木県庁、東武鉄道(株)、(株)JTBコミュニケーションデザイン)

栃木県環境森林部
環境森林政策課 環境立県戦略室 主査
荒川 涼氏

東武鉄道(株)
経営企画本部
杉本 洋輔氏

(株)JTBコミュニケーションデザイン
営業推進部 AC局 AC課 チーフマネージャー
黒岩 隆之氏

EV-05 14:00〜15:00 会場:A

商用車の電動化に関する政府の取り組み

高稼働、複数台運用などの特徴を持ち、電動化の効果がより期待できる商用車について、現況と検討すべき課題、政府としての取り組みについて紹介する。

経済産業省 製造産業局
自動車課 課長補佐
西野 智博氏

SATEX

SA-04 10:30〜12:00 会場:C

スマートフォンのアプリから取得するセンサーデータの活用について

株式会社Agoopは、スマートフォンのアプリから収集した位置情報ビッグデータを活ます。本講演では、観光・災害分析、新型コロナウイルス拡散における人流変化の解析用し、世界中の人々の動きを可視化する「流動人口データ」を提供していなど最新の活用事例を紹介します。

(株)Agoop 代表取締役社長 兼 CEO **柴山 和久氏**

ウィズコロナ時代にこそ求められる、位置情報ビッグデータ

「密」を回避して安全に日々の買物ができる様にと願いを込めた「お買物混雑マップ」。ウィズコロナ時代において、位置情報データプラットフォームのunerryが起こした新しいムーブメントと、それを支える技術についてご紹介します。

(株)unerry CTO **伊藤 清香氏**

SA-05 15:30〜16:30 会場:C

シビックテックによる官民連携

新型コロナウイルスの登場により、トップダウンによるアプローチでは対応ができないして課題に対応するさまざまなプロジェクトが各地で生まれました。本公演ではそのさまざまな課題が噴出しましたが、各地で市民自身がテクノロジーを活用ような事例をご紹介します。

(一社)コード・フォー・ジャパン 代表理事 **関 治之氏**

11月6日(金)

エヌプラス

NP-09 10:30〜11:30 会場:A

しなやかなタフポリマーが実現する次世代モビリティの飛躍

本講演では、内閣府 革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)「超薄膜化・強靭化「しなやかなタフポリマー」の実現」(2014〜2019年)の成果を報告する。本プログラムでは、自動車用の革新的ポリマーの開発に成功し、その成果を集めてコンセプトカーを製作した。

東京大学大学院
新領域創成科学研究科
教授
伊藤 耕三氏

NP-10 12:00〜13:30 会場:A

バイオマスプラ、生分解性プラの新機軸 ～市場ニーズの変化とその将来～

今回は、過去とは違うという認識を強くしている。SDGsへの関心が高まり、ESG投資が本格化すると共にプラスチックのユーザーの意識が変化してきた。食品メーカー、ITメーカー、自動車メーカー等B2C企業のリーディングカンパニーは方針を明確にし、行動を起こしている。官公庁の後押しも本格化してきた。ただし、現状のバイオプラスチックはまだ課題も多い。それを知った上で「できるところから一歩ずつ」というユーザーの動きと、課題を解決しようと努力するメーカーの動きを述べたい。

(有)カワサキテクノリサーチ
主席コンサルタント
伏見 勝夫氏

(有)カワサキテクノリサーチ
コンサルティングスタッフ
前原 聡子氏

NP-11 14:00〜15:00 会場:A

次世代自動車産業を見据えたサーマルマネージメント設計の重要性

車両の電動化や自動運転技術 の進展に伴い、車載パッケージの小型化、高出力化が進んでいます。
パッケージ構造から実装材料に至る総合的かつ精緻な熱設計が重要であり、当社の取り組みをご紹介します。

昭和電工マテリアルズ(株)
(旧:日立化成(株))情報通信事業本部
実装材料クラスター営業部 課長代理
天沼 真司氏

フライングカーテクノロジー

FC-05 10:30〜11:30 会場:B

空の移動革命に向けた政府の取組

世界中で様々なプレイヤーが人を乗せて移動できる「空飛ぶクルマ」のプロジェクトを立ち上げ、社会実装に向けた研究開発や規制の議論が進んでいます。日本において「空飛ぶクルマ」を実現していくためには、「民」の構想や技術開発の見通しをベースに、「官」が適切にルール作りなどの支援を進めていくことが重要です。経済産業省と国土交通省は、共に2018年8月より「空の移動革命に向けた官民協議会」を開催し、同年12月にロードマップを取りまとめました。本講演では日本における現状と課題、ロードマップの概要、ロードマップ策定以降の官民協議会での議論、今後の取組の方向性について紹介します。

経済産業省
製造産業局 産業機械課 次世代空モビリティ政策室
室長補佐
伊藤 貴紀氏

国土交通省
航空局 安全部 安全企画課
課長補佐
山村 肇氏

FC-06 14:00〜15:00 会場:B

空飛ぶクルマへの技術活用(JAXAにおける取組)

JAXAにおいては次世代高速回転翼航空機の研究開発を行っており、その技術を生かして、マルチロータ型ドローンについても研究を行っている。本講演では、主にマルチロータの空力性能、騒音、またマルチロータが壁や天井、地面近くで遭遇する特有の空力課題や解析技術についてご紹介をしたい。

(国研)宇宙航空研究開発機構
航空技術部門 航空システム研究ユニット 研究領域主幹 **田辺 安忠氏**

eVTOL実用化への課題と近道

講演者らはeVTOLの一形態としての電動小型ヘリコプターを提案しており、数年以内の実用化を目指している。本講演では、プロトタイプの開発を通じて明らかになった、電動化における技術課題、市場開拓の可能性などについて概説する。

法政大学大学院 アーバンエアモビリティ研究所 所長 **御法川 学氏**

空飛ぶクルマへの技術活用

空飛ぶクルマの実現には、乗り物にとって大前提の安心安全と「乗ってみたい」と思わせる魅力が必要です。エアロネクスト独自の構造設計技術4D GRAVITY®は空飛ぶクルマの「安全性」と「快適性」の両立には必須の技術です。

(株)エアロネクスト 代表取締役CEO **田路 圭輔氏**

FC-07 15:30〜16:30 会場:B

空飛ぶクルマ時代のインフラプラットフォームビジネス

滑走路がいらない空飛ぶクルマは既存のインフラに縛られることなく「点から点へ」という最短距離の移動が可能になる。これはまさしく21世紀に我々が直面する産業革命であると言っても過言ではない。実現するためにはインフラが必要であり、エアモビリティ社は、官民合わせたあらゆる事業体と共同で関連のあらゆるインフラ(プラットフォーム)の構築を検討しておりそれをご紹介する。

エアモビリティ(株) 代表取締役社長&CEO **浅井 尚氏**

空飛ぶクルマビジネスにおけるリスクの考え方

空飛ぶクルマの実装社会の実現に向けて不可欠なのが、安全性の担保です。リスクのプロの視点から「この新たな技術の運用において、どのようなリスクが存在するのか」「リスクを低減するにはどんな手段があるのか」といった観点からお話をさせていただきます。

東京海上日動火災保険(株) 航空保険部部長 兼 営業課長 オープンイノベーション推進担当 **秋山 将人氏**

ANAの目指す空飛ぶクルマ運航事業

空飛ぶクルマの社会実装に向けて、ANAは旅客機運航経験を基軸にオペレータの立場で貢献したいと考えており、初期的には25年の大阪万博をマイルストーンに空港からの二次交通の輸送手段の提供を目指します。

全日本空輸(株) オペレーションサポートセンター 品質企画部 アシスタントマネージャー **原口 祐樹氏**

EVEX

EV-06 11:00〜12:00 会場:C

災害時に対応できるホテル初のV2Bシステムおよび WPCの取り組み

2020年3月にオープンしたリビエラ逗子マリーナ内のホテルに設置されたV2B(Vehicle to Building)システムには、常時(いつも)はEV来場客への充電や社内EVにある電力のピークカットに寄与し、災害時(もしも)には、一時避難設備として提供するホテルロビーに、非常灯と100Vコンセントにの電力供給するシステムを導入するとともに、会社も従業員も積極的にEV乗り換えを推進し、社用車EVと従業員EVがエコロジーと災害時対応するWPC(Work Place Charging)の取り組みを行っている。

(株)リビエラリゾート 専務取締役 **山崎 哲雄 氏**

EV-07 12:30〜13:30 会場:C

テスラ・モデル3分解から読み解くパワー半導体応用戦略とそこから予測する次世代自動車像

世界で初めて車載用パワーデバイスにSiCパワー半導体を適用されたテスラモーターズ社のモデル3のインバータと車載充電器(OBC)の分解解説をベースに、次のテスラのモデル、並びに各社の次世代電気自動車の電力器のあるべき姿について、将来像を掲示する。

名古屋大学
未来材料・システム研究所 大学院 工学研究科 電気工学専攻 教授
山本 真義 氏

SATEX

SA-06 12:00〜13:00 会場:B

最新のGNSS受信機情報

当社は創業以来三十有余年、GPSに代表されるGNSSを用いた付加価値の高い受信機の開発・設計・製造を、独自に一貫して行って参りました。近年は、QZSSを利用した高精度単独測位技術やマルチ衛星・多周波受信技術がクローズアップされ、これらを活用した受信機が注目されています。講演では、直近の利活用例を交えて、最新の受信機や受信技術をご案内致します。

マゼランシステムズジャパン(株)
代表取締役
岸本 信弘 氏

SA-07 14:00〜16:00 リレーセッション 会場:C

屋内測位システム/IoTデバイスの最新情報

進化する屋内測位システムとユニークなIoTデバイス

世界中で次々に誕生している位置測位システム。その位置情報に付加価値を付ける様々な最新のIoTデバイスがマーケットに提供され続けています。本セミナーではみな様に最新の測位システムとIoTデバイスをまとめてご紹介させていただきます。

マルティスープ(株) 代表取締役 **那須 俊宗 氏**

位置情報を活用した勘所と効果的な空間情報事例

位置情報を活用した勘所と効果的な空間情報事例をご紹介

アドソル日進(株) IoTソリューション本部 営業統括部 営業部 **大勢待 篤志 氏**

UWBを用いたリアルタイム測位システム

UWB(ウルトラ・ワイド・バンド)技術が過酷な電波環境にも強い測位技術として注目されている。その応用事例や産業界での測位技術の標準化の取り組みを紹介する。

BeSpoon シニア・ディレクター・ビジネス・デベロップメント **佐藤 隆 氏**

高精度屋内位置測定デバイスのご紹介

超音波位置測位を利用した屋内位置測定デバイスを開発、販売する以下の2社の事例をご紹介。MarvelmIn d Robotics(ロシア)ZEROKEY(カナダ)

豊田通商(株) 電子事業統括部 エレクトロニクス技術・投資戦略グループ グループリーダー **中村 康明 氏**
(株)ネクスティエレクトロニクス 営業本部ビジネスアーキテクトユニット事業開発部 IoTビジネス開発グループ グループリーダー **中村 将之 氏**

屋内外の動態管理を手軽に行えるビーコン対応GPSトラッカーGW

屋内や敷地内のピンポイント情報をビーコンで、広範囲な屋外は衛星からの位置情報を取得できるハイブリッドトラッカー。アンテナとバッテリーも内蔵なので、手軽にIoTの導入をいただけます。

京セラ(株) IoT営業部 IoT営業課 **野口 太輝 氏**

色素増感太陽電池搭載ビーコン「レスビー」のご紹介

シャープ(株) 研究開発事業本部 材料・エネルギー技術研究所 第三研究室 課長 **植木 俊 氏**

obnizによるクラウドで作るプログラマブル屋内位置情報

obnizのゲートウェイを使うことでBLEビーコンを使った屋内位置情報をファームウェアを書くことなく実現した実例とそのメリットについて

(株)CambrianRobotics 代表取締役 **佐藤 雄紀 氏**

Live Location Service, Jcard位置測位

極薄カード型デバイス(GPS, RFID, BLE, 加速度センサ)で屋内外の位置測位。プロフィル設定もWebで簡単に。

(株)Social Area Networks 事業企画部本部長 **山内 明 氏**

SA-08 16:00〜16:30 会場:A

中小規模農家向け農業用ローバーの取組【内閣府準天頂衛星プロジェクト】

就農者の高齢化などの社会問題の解決にむけて、農場における収穫物などの自動運搬に関して、"みちびき"を活用した複数台の自律による自動搬送車を使って低コストに実現するための実証実験に関しての発表を行う。

ドローン・ジャパン(株)
取締役会長CEO
春原 久徳 氏

次回開催のご案内

2022 2.2 wed ▸ 4 fri

東京ビッグサイト 南3ホール

―― お問い合わせ・出展についてのご相談 ――

展示会事務局　www.n-plus.biz
TEL：03-3503-7621